

令和 6 年 9 月 30 日 発行



社会福祉法人 泰仁会
特別養護老人ホーム「やさと」

石岡市小倉 4 4 2 - 1
TEL (0299) 43-0811(代)

特別養護老人ホーム「桜の郷 元気」

東茨城郡茨城町桜の郷231-7
TEL (029) 292-3900(代)

さわらび

第 84 号



ある日のケア (桜の郷元気 事務職・歯科衛生士)

泰仁会ホームページ

泰 仁 会

検 索



泰仁会ホームページ



やさとブログ



泰仁会は「いばらきダイバーシティスコア」を活用してD&I推進に取り組み、要件を満たす企業等「いばらきダイバーシティスコアチャレンジ企業」として登録しました。

登録の証としてデジタルバッジが付与されました。

口腔ケアの重要性

特別養護老人ホーム桜の郷元気

生活相談員 高橋 まゆみ

桜の郷元気では、ご利用者の口腔ケアに現在力を入れております。高齢者が生活をしている施設としては、食べ物を飲み込む力も低下してきたり、唾液を飲み込むだけでも誤嚥性肺炎につながるケースが少なくありません。いつまでも健康な毎日を過ごしていただくために、口腔ケアの知識や技術は必要不可欠であると考えています。そのようなことから8月には、施設内に訪問歯科として来ていただいている水戸エンゼル歯科様により、口腔ケアに関する全体研修を実施しています。



歯科衛生士の方からは、体の不調の始まりは口から始まっている

といっても過言ではないと話をしてきたのが印象的でした。また、口腔ケアは単に病気の予防だけではなく、転倒の予防や人との交流の中で表情をつくったり、会話の意欲にもつながりたくさんの効果が期待できます。学んだことをしっかりとご利用者の支援につなげていきます。

さらに、歯科衛生士の資格をもつ事務職員がおり、週に一度現場に足を運んで実際に口腔ケアを行う介護職員への指導も含めて、多職種で取り組みを強化し始めたところとです。今後もご利用者の健康を第一に考え、私たちも介護技術だけでなく、口腔ケアの技術も磨いていきたいです。



医療と介護の連携強化のために

丹野病院

院長 丹野

英

丹野病院は、地域医療へ貢献するために医療の包括的視点に立つて良質な医療を提供すること、地域から信頼され愛ある医療を目指すことを病院理念としています。当院では救急医療から高齢医療に至るまで対応することで地域住民の健康に貢献してきました。診療科は内科をはじめとして外科、整形外科、小児科、麻酔科、脳神経外科があり、急性期と慢性期病棟を合わせた病床138床のケアミックス病院。また、医療の包括的視点に立ったりハビリテーション科の施設の整備や、訪問診療、訪問看護に力を入れていきます。関連施設としては介護老人保健施設や特別養護老人ホームがあります。

当院と桜の郷元気さまとは以前より、利用者さんの健康維持のため密な情報交換の下、連携強化に努めて参りました。昨今の新型コロナウイルス流行に対しても、早期にPCR検査システムを導入。



V F (嚥下造影検査)

ボランティアへの感謝

特別養護老人ホーム 桜の郷元気
統括課長 谷 伸一郎

国内で初めてのコロナウイルス感染者が確認されたと発表があったのが2020年1月16日です。その頃、施設内の人と人とが交流する機会は制限がかかり、楽しみとなるイベントや施設へ毎回足を運んでくださったボランティアの皆様にも中止の選択をせざる負えない状況でした。

あれから約4年以上が経過して、コロナ感染症も5類感染症となり、多くの経験をもとに予防に取り組み、徐々に元の生活に戻りつつあります。そのような中で必要な感染症予防対策をとった上で、ボランティア活動の再開を徐々にしていくことにしました。中でも書道教室や歌謡ショーの再開を望む声が多く、まずはコロナ前から書道教室のためにボランティアに来てくださった深谷先生に相談をしました。再開を迎えるまでに毎年先生とはお電話などで話をする機会がありました。先生からは「私はいつでもボランティアに伺

う準備はできています。道具もすべて用意をしておきますから心配しないでください」とおっしゃっていただけたことは本当に支えになり、大切な存在であると感じていました。



今回は少し書道教室の内容を紹介させていただきます。施設内の地域交流スペースという広い場所で行われており、ご利用者は習い事へ行くという思いで参加されています。先生より「認知症があっ

ても、障害があっても書けば書くほど上達している姿に驚かされる」と話をされていましたが、硯や筆を持つと真剣に書かれているご利用者の集中力は本当に素晴らしく感じます。何かに真剣に取り組もうとする気持ちが自立支援につながることを実感しました。そして何より書道教室の終わりには、先生が選定し、その日一番良く書けたものはお部屋へ持ち帰り、2番目に良くできたものは成果としてお一人ずつファイリングしてください、一冊が埋まればこれまでの頑張った成果としてプレゼントしてくださいとあります。それを見たご利用者はより頑張ろうとする気が出るようです。



このように桜の郷元気には自慢のボランティアの方がおり、職員だけではなく、ご利用者の生活の一部を支援してくれております。単にできないことを支援するだけではなく、地域とのつながりを感じられる大切な機会となっております。ことは間違いありません。桜の郷元気の強みとして、ご利用者支援チームの一員として、職員だけではなくご家族やボランティアに支えていただいていることに感謝の気持ちをもって、これからも支援に力を入れていきたいと思えます。

教科書



泰仁会常務理事
桜の郷元氣施設長
永山 直人

お盆明けになる8月16日、台風9号の勢力がニュース等によって、大きく報道されておりました。不安になった私は、久しぶりに施設へ泊りました。東日本大震災の際、ライフラインが途絶えている中で、課長職の皆と連泊をして、利用者対応をしていたことが思い出されました。創立20年を迎えた施設であつても、建物は頑丈であり、要塞のようなものですが、「上陸しないが最大級の勢力」という報道であつては、地域の住民の方々に、停電や断水等から一時的にでも「安心できる場所」として、施設内の地域交流スペースの開放等に備える必要があると思つた事

と同時に、自宅から出退勤をするスタッフ皆の安全確保、そして入居者の方々に、どうしても介護サービスが必要とする利用者の方々（デイサービス・ショートステイ等）の送迎時の安全体制等を考えていました。

「ひたちの長岡」の木下管理も同じ思いにあつたようで、翌朝の電話連絡にて彼が施設に泊り、待機していたことを知りました。被害を受けずに翌朝を迎えた時には、胸を撫でおろしたのと同時に、雨風が強まる中、夜勤予定のスタッフが早めに出勤する姿を思い出したり、職場内で声をかけあつて勤務調整等をしている姿を目の当たりにしたりと、施設周辺の道路を確認しながら、帰宅の道でハンドルを握り、「つなぐ」という言葉の意味を、かみ締めていました。早番勤務から日勤帯・遅番勤務、そして夜間勤務へと、医療・介護施設ではあたりまえと思われるシフトを、桜の郷元氣も20年間7、300日途絶えることなく、つないできたスタッフの皆に、あらためて深く感謝の念を抱きました。朝焼けがとても綺麗であり、運転免許を取得したばかりの頃に、一晩中、車を乗りまわし、朝を迎えた時のすがすが

しさを思い出しながら、帰宅をしました。

現在、施設内では感染症対策を継続しながら、入居者や利用者のみなさまの「社会活動」を少しずつ元へ戻す試みが再開されています。その一つには、施設開設時から二人三脚で、入居者や利用者のみなさまの暮らしを側面からサポートしてくださっている、書道教室（ボランティア）として来園されている、深谷恵美子先生の活動があります。「おけいこの時間内に、その人なりに上達したことがわかると嬉しそうな顔を見せてくれる。人と競争したり比べたりすることは、しない方がいいと思う。（なにごとでも）」・家族の方が見学へいらつしやつた。少しでも良くというお気持ちからか、悪い点を注意される。生徒さんの顔がくもる。どんなことでも良い点を見、ほめることにしてほしい。「できなないからといって私が手を出すよりも、じっくり見、じっくり考え、やろうとすることが大切だいつも思う。」深谷恵美子先生の、活動記録のコメントです。長いコロナ禍で、来園に制限があつたため、この記録はもう5年以上前のものです。施設

開設当初から、運営の協力をいただき20年。多くのことを教えていただきました。この活動時のコメントは、私のスタッフ育成の「教科書」として大切に綴っています。活動が再開し、あらためて机の中にしまつておいた「教科書」を出したところでした。

さて、今の私はこのように、スタッフ一人ひとりと向き合っているのでしょうか。「施設は施設長以上の施設にはなりえない」、私が法人・施設の運営にかかわっている限り、決して忘れまいと、デスクマットの下に大きく印字をして、常に目にふれるようにしてありますが、時代の変化に対応できていない、自分に気づかされることが多くなってきました。先日、法人事務長よりある社会保険労務士さんのコラムをもらいました。「Z世代」の育成のポイントとして、子供に自転車の乗り方を教えるように最初は後ろから支えて押し出していること。自分で走りだすまで軽く手を添え、優しく声を掛けながら、励ましてほしい。と結んでありました。「バブル世代」の私ですが、育成の基本は変わらないように感じています。

（令和6年9月20日）

令和5年度決算報告

賃借対照表

令和6年3月31日現在

資産の部		負債の部	
流動資産	373,141,285	流動負債	303,722,211
固定資産	2,291,555,736	固定負債	651,120,940
		負債の部合計	954,843,151
		純資産の部	
		基本金	162,034,792
		国庫補助金等特別積立金	415,722,726
		その他の積立金	0
		次期繰越活動収支差額 (うち登記活動増減差額)	1,132,096,352 -13,317,827
		純資産の部合計	1,709,853,870
資産の部合計	2,664,697,021	負債及び純資産の部合計	2,664,697,021

事業活動計算書

(自) 令和5年4月1日 (至) 令和6年3月31日

勘定科目	決算額
サービス活動収益	1,388,348,619
サービス活動費用	1,408,991,104
サービス活動増減差額	-20,642,485
サービス活動外収益	16,555,981
サービス活動外費用	9,708,010
サービス活動外増減差額	6,847,971
経常増減差額	-13,794,514
特別収益	13,890,707
特別費用	13,414,020
特別増減差額	476,687
当期活動増減差額	-13,317,827
前期繰越活動増減差額	1,129,900,179
当期末繰越活動増減差額	1,116,582,352
その他積立金取崩額	15,514,000
その他積立金積立額	0
次期繰越活動増減差額	1,132,096,352

資金収支計算書

(自) 令和5年4月1日 (至) 令和6年3月31日

勘定科目	決算額
事業活動収入	1,404,904,600
事業活動支出	1,315,166,548
事業活動資金収支差額	89,738,052
施設整備等収入	13,414,000
施設整備等支出	137,432,916
施設整備等資金収支差額	-124,018,916
その他の活動収入	43,027,547
その他の活動支出	72,646,279
その他の活動資金収支差額	-29,618,732
予備費	0
当期資金収支差額合計	-63,899,596
前期末支払資金残高	204,268,250
当期末支払資金残高	140,368,654

令和5年度事業報告

◇利用状況 やさと

特別養護老人ホームやさと	28,067人	
ショートステイやさと	5,244人	
デイサービスやさと	8,669人	
デイサービスやさと(総合事業)	937人	
ケアプランセンターやさと	1,606件	
ケアハウスやさと(毎月1日時点)	180人	
在宅介護支援センターやさと	相談件数	223件
	実態把握	155人
	生活機能評価	100人
	介護予防教室参加者累計	1,084人
グループホームさわらび	6,501人	
国府あおい	宿泊	3,282人
	通所	2,836人
	訪問	4,417人
事業所内託児所こぎつねの郷	1,243人	

桜の郷 元気

特別養護老人ホーム桜の郷 元気	23,996人	
ショートステイ桜の郷 元気	3,716人	
デイサービス桜の郷 元気	8,114人	
デイサービス桜の郷 元気(総合事業)	447人	
ケアプランセンター桜の郷 元気	1,243件	
シルバーハウジング	安否確認	10,591件
	関連機関連絡	9件
	相談件数	4件
	緊急時対応	3人
桜の郷 元気 ひとたちの長岡	ショートステイ	5,579人
	デイサービス	6,601人
総合事業	930人	

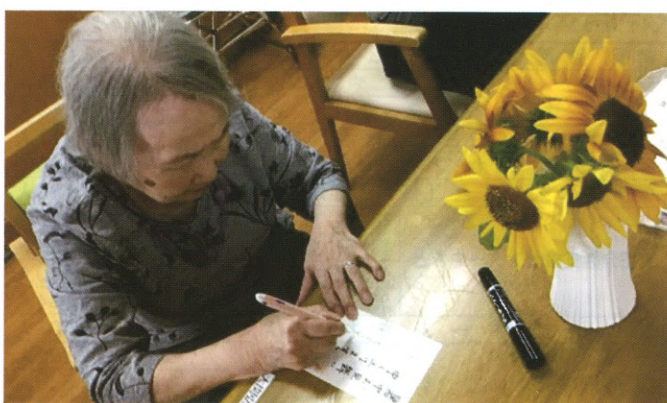
◇リスクマネジメントの取り組み状況

	やさと	桜の郷 元気
事故報告件数	220件	103件
ヒヤリハット報告件数	2,833件	2,313件
ご意見・苦情件数	3件	7件
やむを得ない身体拘束件数	1件	0件

◇有資格者数 (令和6年3月31日現在)

資格名	やさと	桜の郷 元気	資格名	やさと	桜の郷 元気
介護福祉士	56人	52人	作業療法士	1人	0人
社会福祉士	4人	1人	管理栄養士	1人	1人
施設福祉士	1人	0人	栄養士	1人	1人
介護支援専門員	11人	11人	介護職員初任者研修	32人	21人
正看護師	4人	9人	産業ケアマネージャー3級	0人	1人
准看護師	7人	6人	保育士	7人	0人
理学療法士	1人	2人	ITサポート	1人	0人

やさと 夏の風景



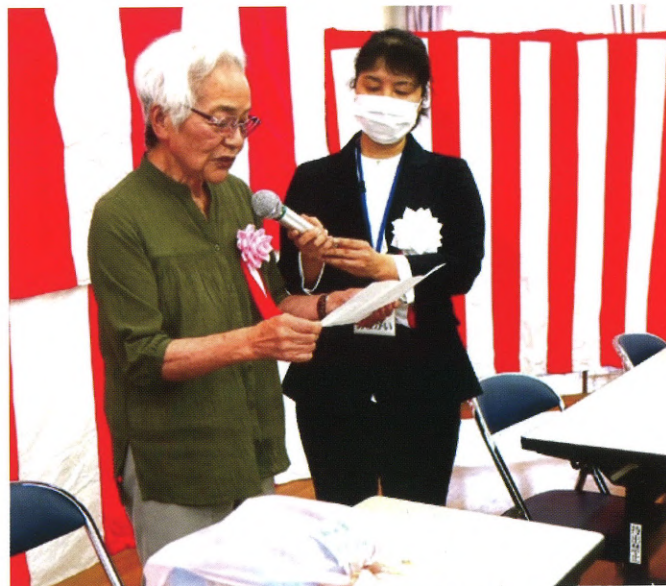
暑中見舞いを執筆中



やさとではこの暑い夏でも趣向を凝らして、様々なイベントを開催しました。皆様にもこの夏のひとときの雰囲気ぜひ味わっていただければと思います。



今年もたくさん収穫できました



敬老会のあいさつを務めました



ご先祖様をお迎えしました



涼しかった日はお散歩にいきました



つくば市へお買い物中



惜しい！

お疲れ様でした

桜の郷元氣、やさとにて約二十年間お勤めいただいた根本良三さんが七月で退職となりました。

デイサービスやさとでは涉外担当として地域の方々の暮らしを支えていただきました。

長年のご尽力に敬意を表し、菊地理事長から感謝状の盾を贈りました。



～事故対策委員会より～

- ・ご利用者が安全に過ごせるよう、発生した事故やヒヤリハットの分析を行い、最善の予防策がとれるよう危機意識をもって取り組んでまいります。

【桜の郷 元氣】

月	4月	5月	6月	7月	合計
ヒヤリ・ハット	187件	165件	201件	144件	697件
事故	11件	6件	10件	12件	39件

桜の郷元氣の数字内にひたちの長岡の件数も含まれています。

【やさと】

月	4月	5月	6月	7月	合計
ヒヤリ・ハット	245件	249件	199件	216件	909件
事故	18件	29件	25件	17件	89件

やさとの数字内にデイサービスやさと、ケアハウス、GHさわらび、国府あおひの件数も含まれています。

～身体拘束適正化・高齢者虐待防止委員会より～

- ・短期利用中の経管栄養の方が抜去リスク高い為、利用と同時にミトン着用となっております。解除に向けて多職種・家族と連携した取り組みを行ってまいります。（やさと）

月	4月	5月	6月	7月	合計
桜の郷元氣	0件	0件	0件	0件	0件
やさと	0件	0件	0件	1件	1件

～苦情処理委員会より～

【ご意見・苦情内容】

- ・職員の接遇・対応に関する内容のご意見を頂き、法人全体で接遇・個人情報に関する研修を実施し、再発防止に取り組んでいきます。（やさと）

月	4月	5月	6月	7月	合計
桜の郷元氣	0件	0件	0件	0件	1件
やさと	1件	0件	1件	1件	3件

災害に備えて

やさとでは、緊急災害時の停電に備えてガスで発電を行う非常用LPガスエンジン発電装置を導入しました。

停電時から生命維持に必要な電力を約三日間確保できる装置となります。茨城は地震が多い地域となりますので、今後も定期的に防災訓練を実施し、災害発生に備えていきたいと思えます。



編集後記

今年も全国各地で猛暑の日が続き、皆様はいかがお過ごしになったでしょうか。敬老会も終え、これから季節は秋へと深まっていますので、衣替えの準備を行ってまいります。

皆様も、体調管理に気を付けてお過ごし下さい。

(k・M)